

第5回富田林市観光ビジョン策定委員会

日時	令和元年10月8日 午後1時～
場所	富田林市役所3階 庁議室
委員	出席：和泉会長、橋川副会長、松井委員、阪口委員、武田委員、畑中委員、 後藤委員、赤崎委員 欠席：柴田委員
事務局	杉分部長、柳田次長兼課長、武部課長代理、佐々木、菅原

■開会のあいさつ

議題1 富田林市観光ビジョン素案（案）について

<会長>

皆さん、こんにちは。お集まりいただきありがとうございます。それでは早速ですが、限られた時間でございますので、委員の皆様のご協力を得て進めてまいりたいと思います。最後までどうぞよろしくお願いします。それでは早速、議事の方に入らせていただきます。事務局よりご説明をお願いします。

<事務局>

●富田林市観光ビジョン素案（案）について、前回会議でいただいた内容を踏まえた修正点の報告。

第3幕まで資料に基づき説明。

<会長>

事務局ありがとうございます。

まず前回の内容の確認をさせていただきます。議事録のとおり、綺麗にまとまっていてわかり良い、概ね問題はないということでしたが、P3の「基本理念」についてが一番大きな内容・課題となっていました。行政的にまとまりすぎているとの意見が多くありましたが、事務局としては市のテーマとしては交流人口と定住人口という2つが大きな柱であることから、「来るたび発見！」「住んでも発見！」が登場しました。それに関して委員の方々からのご意見が“キャッチーな文言での検討を”ということであり、ここの議論についてまず進めていきたいと思います。

前回、委員から他の自治体の例を出していただき、皆が共有できるようなものが良いのではないかとの話もありました。富田林らしさという部分では、現在は形づくりの発展途上であるため、これから明確にする意味も込めて、基本理念はもっとキャッチーな方が良いと思いました。

例えばですが、ある場所にフィールドワークに行って、おもしろくて気がついたら帰る時間になっていることがありました。「時計をみれば帰宅時間 スマホをみれば容量いっぱい」のような、知らない間に富田林のことで時間が過ぎて、スマホの容量が写真でいっぱい、知らない間に色んな人と交流している。これを基本理念の部分で、イメージできる部分にできれば良いと思います。その柱として富田林らしさをめざしていくというものにしたいと考えています。富田林らしさをあげていくのも良いかと思います。

どこのビジョンでも使っていない言葉であることが大事だと思うので、富田林らしさを追求していくというのが1つだと思います。

地域力の向上や可能性の提示についても触れていますが、組み立ての主流として富田林らしさの「らしさ」をうたっていくのも1つではないかと思います。

その他、委員の皆様、ご意見はいかがでしょうか。

<委員>

難しいところですね。何個かピックアップはしていました。短い方がいいと思いますね。

●他自治体の事例紹介

<会長>

ありがとうございます。

他の委員の皆様はいかがでしょうか。

<委員>

すごく難しいと思いますが、具体的な情報が入っていると、市のことをイメージしやすくなると思います。何かあった時もそこに立ち返ってこられる、軸の部分がもう少し具体的にになるといいと思います。

広域な南河内エリアでみると、富田林がハブになっているというのを感じるので、そのような意味合いがあったらわかりやすいかなという感じです。

<会長>

具体的な情報があり、立ち返れるものとのことでしたが、他の委員の皆様はいかがでしょうか。

<委員>

これから発展する、富んでいくみたいなイメージがあってもいいと思いました。

<委員>

歴史があって、美味しいものがあるって楽しいというイメージが伝わる言葉が入るといいと思います。馴染んでいく言葉の方が印象に残りやすく良いのではないかと思います。

<委員>

市民性とか、町のカラーみたいなものを入れてみると良いのではないかと思います。

南河内ど真ん中市などでもいいかもしれないですね。ある程度のみんなの認識の中で、富田林ならここだという感じでも良いと思います。

<会長>

皆様から頂戴した意見を踏まえて、事務局から何種類か提案をいただき、次回検討する形で進めさせていただきます。

他、いかがでしょうか。特にご意見がなければ次に行きたいと思います。

では、続きまして事務局より説明をお願いします。

<事務局>

●第4幕以降について資料に基づき説明。

基本戦略というようにしていましたが、「基本」は削除して「戦略」としました。

<会長>

ありがとうございます。今説明いただきましたのは第4幕以降です。前回、食の分野については1つ項目を立てるべきでは、という意見があり、追加となっていますが、ご意見等ございますか。

事務局に何点か質問をします。広域での観光連携とありますが、今既に進められている取り組みや今後取り組む予定のものはあるのでしょうか。

<事務局>

華やいで大阪という団体を南河内地域の市町村でつくっておりまして、つい先日歴史ウォークというイベントを実施し、その時に物販を行うなど各市町村のPR等をしました。

<会長>

他にもあるのでしょうか。

<事務局>

今説明した、華やいで大阪はウォーキングイベントや物販・イベント等をやってきましたが、今年から、将来的にどんな方向を向いていくのかというのを、協議会としての在り方も検討していかないといけないと思っています。

<会長>

ハードルが高く難しいと思いますが、ビジョンとして、行政的な広域連携だけではなく、民間レベルでの連携もしていけると良いのではないかと考えているところです。あと、商品提案というところで富田林ブランドという言葉を使っていますが、これは今も使われているのでしょうか。

<事務局>

今も商工会でしていただいている事業で、今年度も商品の認定等で認定審査委員会を行っていただき2商品の認定を行っています。

<委員>

だいたい年2回審査委員会を行う予定となっております。この事業は9年目です。企業認定ではなく商品認定をしていますので、年々数も増えてきていますが、これからのPR等の展開について検討しているところであります。

<会長>

例えばどんなものでしょうか。

<委員>

食品であれば、地元の特産品を活用したジャム等がありました。冊子もありますので見ていただけたらと思います。

<会長>

富田林ブランドや観光資源の磨き上げもそうですが、P34 寺内町のことを書いていますが、現在されているもの、いいものを評価していきたいですね。本編か概要版で触れていけるといいのではないかと思います。

例えば富田林ブランドの商品の写真を載せるとか、じないまち四季物語を説明している、関連している写真を載せるなど、今の取り組みも評価していく計画にしていけると良いのではないかと思います。

周遊の促進の P35 産業観光のところでは、具体例をあげることで、そういうものがあるとビジョンの中で示すことができ、富田林らしさを追求することもできるため必要だと思います。

委員の皆様、いかがでしょうか。

<委員>

産業の面からいえば、昔から富田林は簾で、大阪金剛簾として伝統工芸品に認定されております。昔はクリスマスの飾りに使うガラスボールも作っており、アメリカへ輸出されたりしていました。

<委員>

そうですね。現存する地場産業は大阪金剛簾ですね。

<委員>

きらめきファクトリーで体験としてコースターくらいの大きさの簾を編むということもしていただいています。

<会長>

他にいかがでしょうか。

<委員>

府外、府内の方もたくさん見えますが、観光をどんなふう売り出していくかというのが非常に難しいと感じています。寺内町やサバーファームは楽しいところだとは思いますが、他に何があるかという時にもう少し広がりを見せたいなと常々思っています。食も同様で、時代の流れの中で、富田林だけではなくて周辺を含めたもので色んなものを考えていって、新たな富田林らしさをつくるというのは、これから先のことを考えていくと、良いと思います。今までのものだけではなくて、違った角度から作り上げていけると良いのではないかと思います。このビジョンの中には、私みたいに全く知らない人、富田林で起業されている方とかもいると思いますので、これだったらわたしたちも参画できるとか、一緒に進めていけるといえるものがあれば、具体的に示してもらえると大変助かる

なと思いました。

<会長>

ありがとうございます。具体的に示していくことによって可能性を提示するということですね。たくさん工場がありますが、今まで観光事業に参入していなかった事業者の方々にも新しい事業ビジョンを感じてもらうことができ、観光・富田林市に可能性を感じられるようなしかけが不可欠だと思います。

食という部分でいかがでしょうか。

<委員>

食のテーマですが、P37「食でつなぐ観光」をめざすというのが良いと思います。実際に「食」と言われた時に、ご当地グルメだけではなく、食文化や料理を提供されているシェフ、お野菜を作っている生産者の方も、食に意味合いを持つ、フードトレイル、食と食文化をつなぐという意味合いの観光のような形で進めていくのが、周遊の促進にもひっかかってきます。フードトレイルにエントリーすると良いと感じました。

<会長>

他にいかがでしょうか。

<委員>

大阪府内の料亭や割烹、レストランのシェフに富田林で実際に生産者の顔が見える様な食材を作ってもらってコラボして、ここへ来ないと食べられないような形での、食の取り組みも良いと思いました。

体験にしても、時間がかかるものがあると思いますが、色んなバリエーションがあっていいと思います。たとえば3時間かかってできるものであれば、宿泊パックとすることで帰りの時間を気にしなくても楽しめる様な、商品構成、体験メニューにするなど工夫できるかと思います。

<会長>

ありがとうございます。具体的なご提案をいただきました。このような具体的な部分を示していけるようにしていきたいと思います。

先ほどご意見で出たように、既存資源だけではなく新しい資源についても、観光資源の磨き上げという中で触れていますね。他、よろしいでしょうか。

基本理念については、参考ご意見を頂戴していますので、一旦事務局にお返しして考えていただきたいと思います。それ以外の修正部分、前回いただいたご意見の修正部分は本日確認いただきました。

その他、ご質問・ご意見等ございますでしょうか。

議題2 ワークショップの実施について

<会長>

では、次の議題に行きたいと思います。ワークショップについてご説明をお願いします。

<事務局>

●ワークショップについてご説明

<会長>

阪南大学国際観光学部の2回生がそれぞれのカテゴリーで、大学内で富田林について調べて発表に向けて取り組んでいます。こんなものがあつたらいいのではないかという内容を提案し、富田林の観光振興について検討したいと思っております。ワークショップには、市内のお菓子屋さんや農家の皆さん（事業者様10名程）に来ていただく予定となっており、事業者様が新しいことを考えて、アクションしていただける機会になるといいなと考えています。ワークショップの実施に関して皆様からご意見、ご質問等ありますでしょうか。

<委員>

富田林の特産品とはどのようなものですか。

<事務局>

特産品の特定はせず、材料は何を使用しても良いこととしています。

<会長>

他にいかがでしょうか。

ご意見がないようですので、次の議題にまいりたいと思います。

議題3 その他

<会長>

では、議題3その他というところで事務局からお願いします。

<事務局>

今後の予定についてご説明させていただきます。今回策定委員会で頂戴しましたご意見をもとに、修正等を進めさせていただきます。

10月30日には、先ほどご報告しましたワークショップを開催させていただきます。

次回の策定委員会の日程ですが、以前に調整させていただいておりまして、11月14日（木）の午後2時からを予定しています。正式な開催案内については、また改めて送付させていただきますので、よろしくお願いします。

<会長>

その他委員の皆様方から全体を通してご意見やご質問等ございませんでしょうか。

ないようですので、質疑・応答につきましては以上とさせていただきます。たくさんのご意見ありがとうございました。以上をもちまして、本日の議事を終了とします。それでは事務局に進行をお返しします。

<事務局>

ありがとうございました。皆様におかれましてはお忙しいところご出席いただきまして、また多くの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。本日いただきました意見を踏まえまして市の関係部署と調整のうえ、観光ビジョンの策定に活かしていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。以上をもちまして委員会を終了させていただきます、本日はありがとうございました。